アメニックス／分煙ソリューション「スモブシリーズ」

喫煙者、非喫煙者、従業員すべてにやさしい分煙環境



「スモブシリーズ」の喫煙ブース。設置は、数時間で完了する



「スモカ」は、壁沿いに設置するので、スペースを有効活用できる。黒を基調とした高級感のあるデザインで、某国内高級車ディーラーのショールームも、採用している

改正健康増進法が2020年4月1日から全面施行されることになり、遊技業界でも、喫煙ブースが注目を集めている。

そんな中、好評価を得ているのが、アメニックスの分煙ソリューション「スモブシリーズ」だ。

これは、喫煙ブースを含めた店舗の分煙化をトータルコーディネートするもので、スペースを確認して売るだけの他社製品とは違い、避難経路や非常灯、防火シャッターに干渉していないかといった消防法上の問題点を調べたり、風適法上、変更承認申請が必要かどうかなどを確認した上で設置を決定。

さらに、ブース内のニオイ対策やスペースの有効活用、日々のメンテナンス業務を軽減させるツールなどを提案。あらゆる角度からその店舗に適したカタチを考え、正しく、快適な分煙空間を作り上げていく。

同社の森本充彦社長は、「ホールさまも業者さまも、まだまだ、どうすれば問題がないのかを正確に理解されていないことが多い。当社が説明した際に、『勉強になった』と言っていただけることがよくあります」と話す。

また、分煙の環境については、「ブース外に煙やニオイを出さないことに対しての意識は高いものの、ブース内の環境はあまり考えられていない。喫煙者も気持ちよく過ごせてこそ、本当の分煙といえるのではないでしょうか」と訴える。

そこで、同社が特に推すのが、喫煙カウンター「スモカ」と消臭システム「プリンセス」だ。

「スモカ」は、同社が誇るホールの島用自動吸い殻回収システムを応用した製品。

カウンター型のテーブル上に、穴が開いた灰皿が一定の間隔で並んでおり、吸い殻を投入すると、自動でカウンター端のタンクまで送ってくれる。

回収された吸い殻は、吸熱ゴムローラーですり潰しながら消火。水を使わないので、廃液が出ず、悪臭を大幅にカットできる。

また、タンクは約1000本分の吸い殻を収容できるため、回収作業は1日1回。従業員の手間がかからない点も喜ばれている。

「プリンセス」は、約500店舗が採用するオゾンとマイナスイオンを利用した店舗全体の脱臭&空気清浄システム。

「スモブシリーズ」では、オゾンとマイナスイオンをブース内に送り込むことで、ニオイを除去し、空気を浄化する。

「喫煙者でも、タバコのニオイが嫌いな人は多い。喫煙客に選ばれるためには、ただ吸えるだけでなく、心地よく過ごしてもらう環境こそが重要」と森本社長。

一般の2.5~3倍の喫煙率といわれる遊技業界。喫煙者も非喫煙者も大切にしたいなら、まず、「スモブシリーズ」を検討してみてほしい。